

石油暖房機器

適切な管理で事故防止

(2014年10月21日掲載原稿)

そろそろ石油暖房機器を使い始める季節になります。事故防止のため、使用上の注意点を紹介します。

1 タンクの口金注意

まず、給油は必ず暖房機器を消してから行ってください。給油後はタンクの口金を確実に締めましょう。締め付けが不足したり、口金を斜めに締めたりしていると、灯油が漏れ、火災になる恐れも。給油口から灯油が漏れていないか、確認して機器本体に装着してください。

2 灯油の管理を

適切に管理していなかった灯油は性質が劣化し、黄色を帯び、酸っぱい臭いがします。この変質灯油を使用すると機器の故障の原因になります。保管していた灯油を使用する際は色などを確認。変質している場合は使用せず、石油販売店に相談しましょう。また、誤ってガソリンを暖房機器に給油すると火災になる恐れがあります。十分注意を。

3 換気が必要

石油暖房機器が正常な燃焼を行うためには換気が必要です。換気が不十分だと一酸化炭素中毒の危険が生じるので、1時間に1、2回は窓を開けて換気してください。

4 危険な洗濯物

石油暖房機器の上で洗濯物を乾かすと、洗濯物が落ち、火災になる恐れもあります。機器の前方1メートル範囲に可燃物を置くことを条例で禁止している市町村もあります。特にスプレー缶など破裂する危険があるものは、暖房機器の近くに置かないでください。

5 ヘアスプレー

シリコン配合のヘアスプレーを暖房機器のある部屋で使うと、シリコンが機器に吸い込まれ、誤作動や故障の原因になります。

6 寿命がある

石油暖房機器にも寿命があります。長期間使用されたときには、販売店などで点検を受けて安全に使用してください。